

令和7年6月23日

地元小学生が広島空港でバリアフリーについて学ぶ

中国運輸局では、共生社会実現のため、「障害の社会モデル^{※1}」、「心のバリアフリー^{※2}」の啓発とその理解を深めることを目的として、学生や社会人を対象とした、バリアフリー教室・各種啓発活動を継続的に実施しています。

このたび、国内外から様々な人々が訪れる広島空港において、地元三原市の小学生が、**空港内のバリアフリー設備の見学**や、**車椅子の体験**をすること等により、自分たちに何ができるのか考えてもらうきっかけにすることを目的にバリアフリー教室を開催します。

1. 日 時：令和7年6月27日（金）13:20~15:00
2. 場 所：広島空港旅客ターミナル2階（広島県三原市本郷町善入寺64-31）
3. 参加者：三原市立本郷西小学校4年生26名
4. 内 容：（1）空港内バリアフリー設備見学（2）車椅子体験（3）バリアフリーに関する講話（4）バリアフリークイズ（5）空港デッキの見学



バリアフリートイレ見学



車椅子体験



バリアフリークイズ

5. 主 催：中国運輸局
協 力：三原市立本郷西小学校、社会福祉法人三原市社会福祉協議会
広島国際空港株式会社

※写真はイメージです。

6. 現地取材時のお願い

- （1）現場取材を希望される場合は、**6月26日（木）16:00**までに、下記の当局問合せ先に御連絡いただくか、別添の報道関係者等登録用紙に必要事項を記載のうえ、メールにてご提出ください。
- （2）取材時は報道腕章を着用ください。
- （3）取材にあたっては、広島空港への個別申込みは不要ですが、取材・撮影に係る注意事項をあらかじめ御確認ください。<https://www.hij.airport.jp/media/interview.html>
- （4）車で来場される際は、広島空港の駐車場（有料）を御利用ください。

※1 障害の社会モデル…障害は個人の心身機能の社会的障壁の相互作用によって創り出されているものであり、社会的障壁を取り除くのは社会の責任である、とする考え

※2 心のバリアフリー…様々な心身の特性や考え方を持つすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支えあうことです。バリアフリー教室は令和2年のバリアフリー法改正に伴い「教育啓発特定事業」に位置付けられ、取組を強化しています。

〈お問合せ先〉

中国運輸局 交通政策部 共生社会推進課 担当：高田（たかた）・山岡（やまおか）
TEL：082-228-3499〔直通〕 e-mail：cgt-sho-gyo@kl.mlit.go.jp

広島空港バリアフリー教室

報道関係者等登録用紙

所 属 _____

氏 名 _____

連絡先 TEL : _____ MAIL : _____

以下にチェックをお願いします。

ビデオ撮影の希望： ☐あり ☐なし

カメラ撮影の希望： ☐あり ☐なし

《当日の受付について》

13時から広島空港2階陶板壁画前で受け付けます。

最寄りのスタッフにお声がけください。

